

父の学校季刊誌 アバだより

# AbBa 便り

「アバ」=お父ちゃん

No.15

2013年12月12日



2013年度も父の学校・家庭回復の働きを覚えて沢山のご支援を感謝します。今年は1月の神奈川1期から11月の鹿児島1期迄11回、115人が修了しました。累計で1391人の修了生です。ロンドン1期、メトロニューヨーク2期と海外の開催も2回、主が志願者、奉仕者を備えて下さいました。

どの開催も素晴らしい恵みがありましたが、特に祈って備えた開催ほど多くの恵みがありました。埼玉西1期は、50日前からの開催教会での祈りに福澤兄弟ご夫妻も参加されました。結果は、兄弟が6年間も念願だった奥様の足を洗うことができました。新潟3期では、洗足式で奥様が来られない兄弟の足を洗う奉仕者が足りませんでしたので、皆で祈りました。新潟1期修了の大森兄、涌井兄が全日奉仕に参加され、池川兄も最終日に来てくれました。鹿児島1期でも奉仕者が足りませんでした。永吉兄が奉仕に参加されました。どの開催も、必要最小の人数が備えられました。

この1年私は「反省会」ではなく、「感謝会」にしようとおりに提案してき



喜びと感謝の奉仕

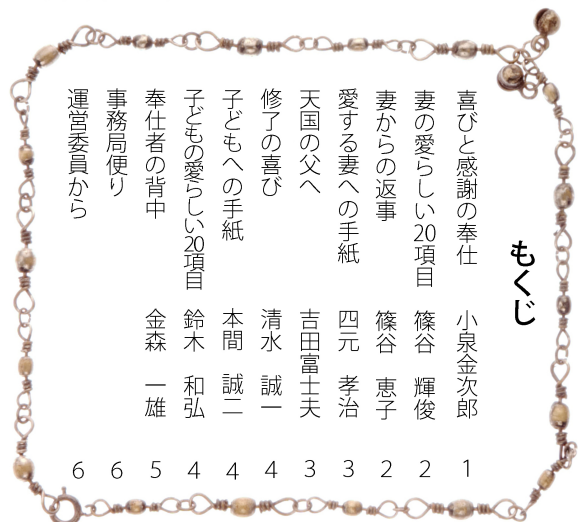
日本運動本部長  
小泉 金次郎

聖書には「感謝」「喜び」と言う言葉は八百回以上書かれています。父の学校は聖霊運動です。いつも喜んで、絶えず祈り、すべてを感謝し、全て聖霊様にお委ねして導かれることが大きな恵みになります。父の学校のリーダーは聖霊様であり、私達に必要なのは聖霊様に従うことです。

今年には特に3組の家族の感謝がありました。数年前に父の学校を修了して、夫婦、親子の関係が回復し、恵みを受けた6人の兄妹たちがロンドン1期、埼玉西1期、鹿児島1期の開催に家族で協力して彼らのご両親に参加を勧めただけでなく、ご夫妻も奉仕に参加してご両親に寄り添って主の祝福を共に喜び合うことができました。

特に84才のお父さんが娘に勧められ、しぶしぶながら3日間出席しました。お母さんも洗足式に出ることを拒否しつつも、お父さんの変化を感じ出席しました。数日後、娘さんから「お父さんが結婚して初めて食器を洗ってくれたよ!」とお母さんから報告があった、との喜びの声が本部に届いています。

又、メトロニューヨークも自主的に同期会が続けられ支部になり、第3期の開催を祈って準備が始まっています。



もくじ

- |              |       |   |
|--------------|-------|---|
| 喜びと感謝の奉仕     | 小泉金次郎 | 1 |
| 妻の愛らしい20項目   | 篠谷 輝俊 | 2 |
| 妻からの返事       | 篠谷 恵子 | 2 |
| 愛する妻への手紙     | 四元 孝治 | 3 |
| 天国の父へ        | 吉田富士夫 | 3 |
| 修了の喜び        | 清水 誠一 | 4 |
| 子どもへの手紙      | 本間 誠二 | 4 |
| 子どもの愛らしい20項目 | 鈴木 和弘 | 4 |
| 奉仕者の背中       | 金森 一雄 | 5 |
| 事務局便り        |       | 6 |
| 運営委員会から      |       | 6 |

\* (父の学校では、教職信徒ともに「兄弟」と呼んでいます)

2014年度も、2月には2年前から開催の依頼があり祈り待ち望んできたロサンゼルス1期の開催が2月15〜17日に決まりました。聖霊様に従い、国内、国外の家庭回復の祝福を共に祈り喜んで奉仕に参加し、主に感謝をお捧げしましょう。

いつも喜んでいなさい。  
絶えず祈りなさい。  
すべての事について、感謝しなさい。  
1テサロニケへの手紙5章16〜18節

修了生が「父の学校」開催期間中に書いた「妻の愛らしい20項目」「妻への手紙」「妻からの手紙」「父への手紙」「子どもへの手紙」「修了の喜び」を公開して下さいました。



1 看護師という形での献身の立ち所  
しのや てるし  
 篠谷 輝俊  
 (新潟3期)

- 1 看護師という形での献身の立ち所
- 2 牧師としての私の立ち所にとにかく言わず、牧師夫人の働きをなしている
- 3 17歳年長の私の人生観を尊重し、いつも一歩下がったところにてくれる
- 4 病院を訪れる多くの患者さんや同僚の人たちから信頼を受け愛されている勤務の激しさに対しての苦情をほとんど家に持ち込まない
- 5 仙台にいる母や東京にいる兄を愛し、私との関係のとりなしを祈っている
- 6 私と娘との間に立ち、思春期で反抗期の娘を導こうと努力している
- 7 東京にいる血のつながりのない3人の息子たちと私との間に立ってってくれる
- 8 仕事に全力を尽くし、疲れているのに家事にも全力を尽くしてくれている

## 妻の愛らしい20項目

- 10 旅行や食事に行くときもすべて私の好みに合わせてくれる
- 11 家計をすべて任せているが、私の無駄遣いに対して何も言わない
- 12 私になくなった母や先妻の記念会などにもいやな顔ひとつしないので出してくれる
- 13 (中略)
- 14 私の健康に気を使ってしてくれる
- 15 私より祈り方が上手。イエスを心から信じている。私より信仰深い教会で与えられた奉仕に忠実にきまじめに従事している
- 16 19 貧乏に慣れている。せいたくをしな
- 17 安心感を与え信頼感を与えてくれる
- 18 私は愛らしいあなたにこんな希望を持っています！
- 19 「17歳年上なのだから、私の方が確実に君より早く天に召されることでしょう。そう思っているのだから、私よりも先に天に召されるなどということが絶対にならないように。車の運転は私任せなので、私がいなくなった時に備え、運転ができるようになっってください」

## 妻からの返事

篠谷 輝俊さんへ

「妻の愛らしい20項目」読ませていただきました。

輝俊さんがそう思ってくれているんだな一と思つて感謝しています。私的には、そうでもないんじゃないかな一と思うこともあったりしています。

基本的に私は古い考え方の人間なので夫に合わせて行動していることが多いのかも知れません。

(中略)

今回こういう形で、あなたの思っている事を表現してくださつてありがとうございます。これは私の宝物にしたいと思います。

輝俊さんは家族・仕事に対して責任感が強い(例えば説教準備に手を抜かない)ところがすごいと思います。また私の事を心配し、大事に思ってくれていることをうれしく思っています。あかりに対してはあまりガミガミ言わず神さまに委ねて祈っていきましよう。

今日のメッセージでわかってもできない事があると言われましたね。

その事もっともよくわかりました。私もです。パウロ先生も語っておられましたね。私にも輝俊さんに願っていることを書かせてください。

- ・ 自分の事情を強調しすぎないでほしい。
- ・ これからもできるだけ一緒にいて一緒にいろいろな事をしてください。よろしくお願いいたします。

2013年10月13日 篠谷恵子

\*「父の学校」で夫は「妻の愛らしい20項目」や「妻への手紙」を書き、奥様には返事をくださるようお願いいたします。夫婦が手紙を交換することで、日常生活ではなかなか言い表せないことがらを言える貴重な機会になります。

篠谷夫妻の仕える「主の港キリスト教会」は、新潟3期の会場教会でした。



### 愛する志保子さんへ

私といっしょになり、これまで33年間生活してきてくれたことを本当に感謝します。ありがとうございます。

この33年間 志保子さんにとつての私は、期待と失望の連続であったと思います。夫として、親として、男として・・・

いろいろありましたが、特に仕事の転勤で奄美大島の事務所から県庁に帰った時に誘惑に乗ってしまったように思いだされます。

結婚後7年間子供が与えられなかった私たちに、二人の子供、恵



太と貴恵が与えられ、すてきな志保子さんがいて、仕事認められ順調なコースが示された私は、内心新しい倉を造った金持ちのような気分であったことが今思うとよくわかります。

## 愛する妻への手紙

ようにして仕事にかまけて夜遅くまで飲んで浪費し、家を買う時も相談もそこそこで決めてしまい、辛い思いをさせてしまったこと等、あれこれ振り返ると自分が恥ずかしくて、なくならない気持ちです。

赴任した沖永良部島で志保子さんにリンパ腫が発症した時もそうでした。心から親身になっていない私の態度に寂しい思いをさせてしまったことと情けなさに、自分が哀れです。

恵太にも貴恵にも、こうした大事な場面で、私の頼りない背中を見せ

てきたのではないかと、与えてしまった傷を

思うと、心が痛みます。

世間に対して自分がどう見えるか、恥を恐れて面子を保つ工夫に執着して、その場しのぎの酒を楽しんで逃げる私のこれまでの人生は、煮詰めると卑怯者で偽善者で裏切り者でした。おまけにがんこな暴君でした。すみませんでした。

夫として、親として、男として全て失格です。

そんな私であるにもかかわらず、主は志保子さんを私の助け手として与えてくださいました。主

の恵みです。主に感謝します。

今、単身赴任先の実家で父、昭一さんといっしょに生活していて思うことですが、私はこの父に育てられたんだ。この価値観、基準で教えられてきたんだというある種の怒りに似た思いです。しかし、自分に染み込んだこの負の鎖を捨てることを、父の学校で気づくことができま



した。このこともまた主の計画であること、そしてこの父をどのように赦して愛することができるのか、私にはわかりませんが、祈って結果を見たいと思っています。

志保子さんが先にクリスチャンであったこと感謝します。愛する志保子さんが、私をあきらめず私の側に居続けてくれ本当にありがとうございます。これから仲良くしてください。これから変わっていく私に期待してください。

2013年11月

四元 孝治 (鹿児島1期)

### 天国の父へ

吉田富士夫 (新潟3期)

お父さん、僕はあなたの息子として生まれたことを神様に感謝しています。

僕がまだ高校生の時、オートバイで交通事故を起こし、相手の方が数日後に亡くなってしまいました。その時あなたは「お前が一番つらいな」と言ってくれたことを覚えています。亡くなった方が同じ町内の人であったことで、あなたもとても苦しんだはず。でもあなたは僕にそんな優しい言葉をかけてくれました。本当に感謝しています。

でもその一方で、今の僕は家族とのコミュニケーションがうまくとれず苦しんでいます。あなたからの影響が皆無だとは言えないと思っています。

あなたに謝りたいことが一つあります。それはあなたが召される数年前に、愛する妻から聞いていた福音をあなたに届けることができなかったことです。

でも、私の代わりに愛する妻が福音を届けてくれたことを神様に感謝しています。天国で再びあなたに会えることを信じて神様に感謝します。





清水 誠一  
(神戸6期)

神戸6期が、10月12〜14日の三日間神戸東部教会堂にて開校され無事修了でき、大変感謝しています。

率直に申しまして、私は自ら進んで入学を希望した生徒ではありません。大変恥ずかしい思いで出席しました。所属教会の牧師や愛する妻や娘から強く勧められて、渋々入校した経緯の持ち主です。一つに、この年になってとの思い、二つに、自分中心の行動を無意識にする自分がとても怖かったからです。

### 修了の喜び

始めに、所属する第1班の愛称名をど

んな呼称にしたら良いかととまどいつつも和やかな雰囲気の中で相談しながら、「LOVE(神の愛)」はすぐに決まり、経験豊富な西海兄弟にリードして頂き、時間内にポスターを仕上げる事が出来ました。これはひとえに主が良きリーダーと班員の構成に配慮された神からの賜物だと思えます。

講義の中では、父親への想い出や愛する妻や子供達への愛らしい20項目に手紙を添えるよう、大変面白い宿題が出され、久しぶりに寝不足になりましたが、愛する妻と子供達を心から愛する為にはとても良い勉強に成りました。

父の学校のメインテーマである「父親の4大機能」(結束、愛する、導き、遣わす)について、主は、具体的な行動や証を基に三日間とても判りやすい説明をしてください、こんな私も父親としての自信が持てるようになりました。

過去の自分を振り返ると、自分の姿が恥ずかしく見えて、穴に入りたいたい気持ちです。この学びを通して学んだことを実践するため、とにかく今日から180度態度を改め、何はともあれ神に祈り、家族への償いの努力をする決意が新たに湧いてきます。

最後に、神戸東部教会へ主任牧師が「愛する妻と子供に対する愛し方」のテーマで、具体的に簡潔に判りやすく説明して下さいました。実践して下さった事項を実践してゆ

きます。

- 1 妻、子供を祝福する
- 2 妻を尊敬する
- 3 祈る。神が祝福して下さい
- 4 子供は神が作り出された者。このように考えれば、子供に乱暴が出来ない
- 5 子供より妻のことを優先する
- 6 愛する妻のことは100%正しいと思えば何でも解決する

### 子どもへの手紙

本間 誠一(酒田1期)

私の心より愛する皆さん！

いつも娘たち二人を連れて家に来てくれて、そして教会にも都合をつけて三人で来てくれてとても嬉しく思っています。また皆さんの愛するご主人の茂さんにもいつもしっかりと寄り添って歩んでいる姿が良かったな。大変良い方と巡り会えて良かったと常々感じています。

洋品店に嫁いだ幸さん。その忙しい日々の中でも子供たちを良く見て、しっかりと母としての教えまた共に喜んで子育てしている姿、とても関心しています。

小さい頃より、今に至るまで周りにいる人を明るくする姿、これは皆さん自身

に大変喜びがあるのでその明るさがいつも周囲を照らし、笑い、喜び、感謝が皆さんから自然に出ているのは素晴らしいことですね。

小学校から、中学、高校、大学と常に成績はトップクラスでしたね。

いつもこれはなぜだろう、なぜこうなるのだろう、人はなぜこう思うのか、なぜそのように考えるのか。いつも何でも質問する人。

自分とは違う人の事を客観的に考えて相手の視線から見ても感情移入がとても良い感じで相手に伝わり、相手の方を敬いながらも、相手の立場となり、考え、言葉を出して生活してゆく様子は私も多くを皆さんあなたから学びましたよ。

### 子どもの愛らしい20項目

マサル君

鈴木 和弘(酒田1期)



- ①背が小さい
- ②笑顔
- ③寝顔
- ④走る顔
- ⑤大きい声
- ⑥彼女と会っている時の顔
- ⑦いいわけ
- ⑧ご飯の時に見せるポーズ
- ⑨自転車で学校へ行く姿

- ⑩サッカーの試合で見せる勇ましい顔
- ⑪勉強の話になるといやな顔をする
- ⑫泣いていても自分の言いたい事ははっきり言おうとする事
- ⑬負けたくない顔
- ⑭怒られた顔
- ⑮時々大人のふりをする
- ⑯友だちを大事にする心
- ⑰他人の信条がわかる気持ちと考え方
- ⑱親に見せない真面目さ
- ⑲テストの成績を気にしないおあらかさ
- ⑳あまり悩まない楽天的な性格

運営委員として奉仕している金森一雄兄（新宿6期）に「アバだより」がインタビューしました。

**アバ**… 金森さんはどのように父の学校と出会いましたか。

**金森**… 親しい友人のTさんから、「父の学校は素晴らしい。親子関係の見直し、和解ができた。真にお勧めできる学びなので、ぜひ参加してみてください」と言われていました。それほどまでに勧めてくださるなら、開催日程をお聞きすると、当時は三週連続で土曜日を空けなければならぬ日程で開かれていることが分かりました。

営業の第一線で働いている時でしたので、すでにいろいろ決まっているスケジュールを調整して開催日程に合わせて三週連続の土曜日を聖別することができず何年もたっていました。

その後、Hさんから、新宿6期の開催予定日を半年以上前から連絡いただいていたので、これは逃げられないと観念して参加しました。

**アバ**… 愛する奥様や子どもさんからの反応はどうでしたか？

**金森**… ご多聞に漏れず、私は長いこと仕事第一のワークホリックビジネスマンをしていました。

職場の同僚に聖書をもらい、周囲のクリスチャンビジネスマンに囲まれる中で、45

歳の時に浄土真宗の家庭から私一人で洗礼を授かりました。一番身近にいた愛する妻と娘ばかりでなく、父や母もワークホリック人間がジーザスホリックとなったので驚きを隠し得ませんでした。「テレビや紅白歌合戦は見ないし、カラオケはダメ。聖書通読と讃美歌しか歌わない」という父親の変身ぶりに戸惑っていたようです。

それでも、4年後に愛する妻が洗礼を授かり、8年後には長女も洗礼を授かるという憐れみを主からいただいた家族でしたが、「QTや賛美を強要する偏差価値教育に浸かった、頭でっかちの信仰」といった父親像はぬぐい切れていかなかったようです。

父の学校特有のハグや祝福の祈り、あるいは皿洗いなども、受講中から始めましたので、またお父さんが新しいチャレンジをしていると、これらは聖書的な意味を心で受けとめられる日が来ることを祈っています。これが「工事中」の我が家の報告です。

**アバ**… ところで、金森さんはなぜ父の学校で奉仕するのですか？

**金森**… 父の学校で一番感動したことは、奉仕者の後ろ姿でした。この感動を大切に

## 奉仕者の背中

にし、一人でも多くの方にお伝えできれば、そのための奉仕者の労苦を共に担えればという祈りです。

年間一つの父の学校でのフルタイム奉仕といったペースでしかお返しできていませんが、現在、運営委員にも選任いただいていますので、主の必要を尋ね求めながら応えていきたいと思っています。

### 新潟3期の進行者として

**アバ**… 新潟3期の進行者としての苦労と恵みをお話し下さい。

**金森**… 進行者に選任されたことを、主からの招きと受

けとめました。一番大切にされたことは、自分を殺すことでした。「この世の司会者や進行係や講師などの経験には絶対に頼らないし使わない」と決めました。受講生と奉仕の皆さんの間を行き交う爽やかな風のようにでありたいと祈りました。

最終日の洗足式の前に、お一人の婦人がデーサービス受入先から教会に送り届けられる予定となっていました。手違いがあつてご自宅に送られてしまい、受講中のご主人様が、車で自宅まで往復しなければならぬ事態が発生しました。

執成しの祈りチームやテーブルリーダー

など皆が集まり、祈りを合わせ、更には洗足式を待つ他の皆さんにも祈っていたべくでしたが、進行者がこの世の知恵に頼り、急遽、新潟1、2期修了生との交わりの時や今後の新潟における父親学校の開催への祈りのときを持つことになりました。

たとえ結果は同じであったとしても、やはり祈りで始めた父の学校のプログラムですから、突発事態が発生しているのであれば、「その事情と対応について、奉仕者ばかりでなく受講者も交えた祈りの時を設けるべきだった、それが進行者としての証しであった」と反省しています。

**アバ**… その他、話したいことがあれば何でもおねがいします。

**金森**… 父の学校は、信徒による聖霊運動の証しだと思っています。人それぞれに賜物が違い、主の召しも異なります。

「父が生きれば家庭が生きる」

「家庭が生きれば世界が生きる」

この働きに、多くの皆さんが何らかの形で加わってくださるようお祈りしています。



# 事務局便り

## 2013年秋の開催報告

酒田1期 (10月12〜14日)

酒田キリスト教会 (山形県酒田市)

開設リーダー：高橋兄

進行：今井兄

講師：福澤兄 (修了者14名)

神戸6期 (10月12〜14日)

神戸東部教会 (兵庫県神戸市)

開設リーダー：沖幸男兄

進行：金漢俊兄

講師：沖胡一郎兄、韓兄、大嶋兄、上田兄、表兄 (修了者11名)

新潟3期 (10月12〜14日)

新潟主の港教会 (新潟県新潟市)

開設リーダー：松縄兄

進行：金森兄

講師：小泉兄 (修了者12名)

鹿児島1期 (11月2〜4日)

伊集院キリスト教会 (鹿児島県日置市)

開設リーダー：金鐘圭兄

進行：長澤兄

講師：福澤兄 (修了者24名)

## 2014年の開催予定

ロサンゼルス1期 (2月15〜17日)

カルバリー宣教教会 (ビエンナーパーク)

開設リーダー：北野兄

進行者：金聖守兄

講師：福澤兄 (志願者目標25名)

メトロニューヨーク3期 (5月)

地元の奉仕者にて開催

新宿7期 (5月17、24日)

開設リーダー：金森兄

進行者：長澤兄 (講師：未定)

東京 (9月20、23日)

会場未定

開設リーダー：笠原兄

進行者：村上兄

講師：福澤兄他

## 千・千基金、感謝献金、諸指定献金

(敬称略、順不同、11月30日現在)

7月 鹿川長久、遠藤茂雄、比嘉正勝、岩崎鉄男、前島常郎

高田フアミリー・チャペル

8月 福澤満雄、遠藤茂雄、比嘉正勝、岩崎鉄男、小泉金次郎

金森一雄、池川富子、横溝達夫、北村 寛、森栄由紀夫

竹森正一、岩村聖一

9月 前島常郎、福澤満雄、遠藤茂雄、田中啓造、安谷 正、比嘉正明、山崎洋一、金聖守、長岡明子、北村 寛、大阪オ

ンヌリ教会、カンキョング、オキ サチオ

10月 福澤満雄、遠藤茂雄、岩崎鉄男、比嘉正勝、広山国臣、金

聖守、田島幸児、安谷 正、北村 寛、本間誠二、尹 盛載、遠藤茂雄、比嘉正勝、北村 寛、四元孝治、吉田信二

## 献金の方法

① ゆうちよ銀行「自動送金サービス利用」

毎月1000円1口(何口でも)

口座番号：10140

番号：1839181

(送料120円)ご本人負担。ご自分の

ゆうちよ口座より毎月自動引き落と

し。窓口にて申し込めます。

尚、送料受取人負担の場合、受取人

のお届け印が必要です。ご希望の方

は、お届け印を押して、送金人様に

送付いたします)

② ゆうちよ銀行に随時振り込み

(ATM機利用)

「ゆうちよ銀行」口座

父の学校日本運動本部

記号：10140

番号：1839181

ゆうちよ同士は手数料無料

③ 他金融機関から

「ゆうちよ銀行」店番018

預金種目 普通預金

口座番号 0183918



## 運営委員から

○来る2014年の予定ですが、ロサンゼルス1期(2月)、サンフランシスコ1期(日程は未定)と遠距離開催が続きます。奉仕、祈り、また献金でぜひご支援下さい。(岩崎鉄男・長野1期)

○「アバだより」の編集を数年担当させていただきました。皆様の真摯な証しを真つ先に読ませていただいて、父の学校の果たす役割の大きさを感しました。ほとんどお手伝いをいただいていたばかりでした。有難うございました。今回から編集に手馴れた前島兄にバトンタッチします。よろしく願います。(遠藤茂雄・横浜2期)

○本誌は、2009年秋の創刊から数えて満4年。発行し続けて下さった代々の運営委員に改めて感謝しました。

今回は、修了生の書いた手紙を公開していただきました。読みながら初心に立ち返る思いです。寄稿者のみなさまに感謝いたします。

新年も4回発行を目指しますので、よろしく願います。新年度の運営委員の構成は下段の通りです。主から受けた務めをよく果たせるようお祈り下さい。みなさま、どうぞよいお年を。(前島常郎・横浜2期)